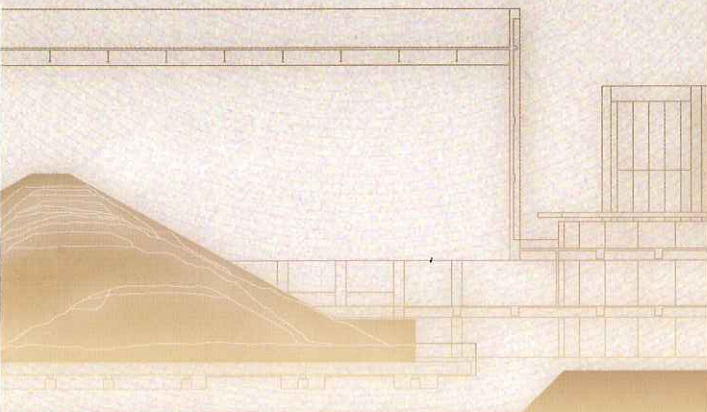


狭山池をめぐる人と土と水の物語



OSAKA PREF. SAYAMAIKE MUSEUM

治水灌漑の土木遺産を継承する

大阪府立 狭山池博物館



約1400年間の歴史が重なる堤



昭和の取水塔と江戸時代の中樋



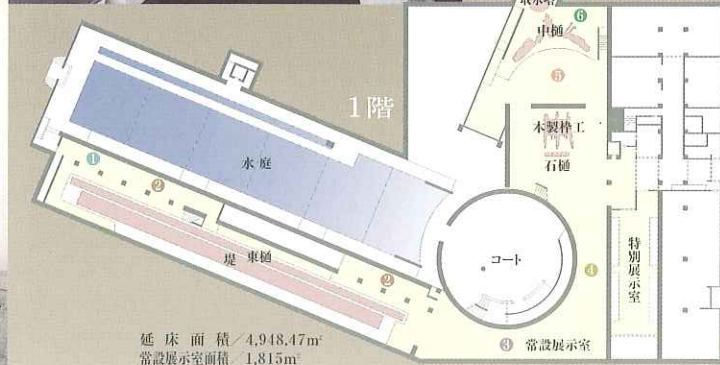
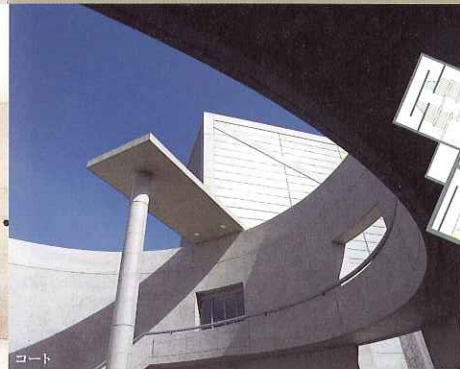
江戸時代の木製構

ようこそ、狭山池博物館へ

狭山池は、7世紀の初めごろに誕生した日本最古のダム式のため池です。狭山池の改修には、奈良時代の行基、鎌倉時代の重源、江戸時代の片桐且元など歴史上の有名な人物がたずさわってきました。1400年の歴史が重なる堤、水を取り出す樋、堤の滑りを防ぐ木製構などの土木遺産には、各時代の知恵と工夫が活かされていました。

狭山池博物館は、このような貴重な土木遺産を未来に継承し、古代から人々の暮らしに深くかかわってきた「治水」、「かんがい」と土地開発の歴史を、現地から移築した土木遺産を中心に、映像や模型などを使い、わかりやすく紹介します。

館内のご案内



重源坐像
レプリカ

どぼくランド

映像で、水にかかわる世界と日本の土木遺産を紹介し、模型やクイズを通じて、土木事業をもっと身近に知っていただきたいと思います。

情報コーナー

郷土狭山の出身で、狭山池に情熱を注ぎ、その重要性を説いた末永雅雄を取りあげます。情報閲覧システムでは、土木遺産などの情報が閲覧できます。

第1ゾーン

狭山池への招待

1400年間の歴史が積み重なる、高さ15.4m、幅82mの堤が、みなさまを迎えます。飛鳥時代と江戸時代の東樋を置きました。

第2ゾーン

狭山池の誕生

狭山池は、国家的プロジェクトにより誕生しました。敷設工など、国際的な土木技術が使われていました。

第3ゾーン

古代の土地開発と狭山池
奈良時代の改修には、行基が登場します。また律令国家による大規模な工事も行われました。川やため池を改修して、農業生産の安定をはかる国家の政策に深く結びついていました。

第4ゾーン

中世の土地開発と狭山池
鎌倉時代に、重源が古墳時代の石棺を利用して樋をつくりました。この記録を刻む重源狭山池改修碑が発見され、工事の全容がわかりました。

第5ゾーン

近世の土地開発と狭山池
江戸時代の初めに片桐且元が改修しました。樋や木製構工を展示しています。西側の部材には、大型船の船材が利用されていました。

第6ゾーン

明治・大正・昭和の改修
大正・昭和初年の改修で登場し、狭山池のシンボルとして親しまれてきた取水塔を、館内に移築しました。鉄筋コンクリート製として、全国でも古い例です。

第7ゾーン

平成の改修
狭山池は、洪水を調節する治水ダムに生まれかわりました。周辺の景観整備も行われました。改修の内容と意義を後世に伝えます。



水庭



コシノヒガン



カワセミ



アオサギ

狭山池をめぐる人と土と水の物語



利用案内

- 開館時間 / 午前10時から午後5時まで
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 / 月曜日(祝休日の場合は翌日)
年末年始(12月28日-1月4日)
- 入館料 / 無料
- 所在地 / 〒589-0007
大阪狭山市池尻中2丁目
- TEL / 0723-67-8891
- FAX / 0723-67-8892
- ホームページ /
<http://www.sayamaikchaku.osakasayama.osaka.jp/>
- 交通 / 南海電鉄なんば駅より高野線にて大阪狭山市駅下車、西へ徒歩約10分。
博物館の専用駐車場(大型バス、車いす使用者は除く)はありませんので、車でのご来館はご遠慮ください。
大型バスでご来館の場合は、事前にご連絡ください。
- 喫茶コーナー / 本館3階に喫茶コーナーがあります。



屋上ガーデン